夕刊
磐城新聞
八月三十日發行
發行所 磐城新聞合資會社
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇一六・五五八番

天氣豫報
小名濱測候所觀測
今晩は北東の風曇驟雨模樣
明日は北東の雨後晴

舊知に會つた樣な
赤井嶽男

もう十五、六年にもなつたらう。警察が今の門傳法律事務所のところに在つた頃で、時の署長の時代だつた署主催の『美化宣傳』標語の懸賞募集に面白半分で應じたのが一等、三等、五等かに入り殆ど一人占めに—た九圓かの賞金を種錢に尼子亭で同衆の小宴を催し上、足を出した分迄自分が自擔した揚げ句、審査員》擧げられ乍ら應募者なるが故を以て之に與らなかつたに拘らず、當時妙な關係にあつたなにがし月刊紙から審査の內幕としてあられを書き立てられて、今から見ると幾らか心臟の弱かつた時代だつた丈けに些か氣ヶ腐らせたことがあつた。その後町の『時の會』たのたかゞ募つた時の宣傳標語にも出して見て之亦二等に入つた切り、再々の事に何か射倖的に見られても—と云ふ懸念から、ふつつり其んな事を廢めて居たが昭和四年の夏その時は『いはらき』支局から助川へ退られた當時だつたので從來とは少し異つた意味で、田町青年團募集の『盆唄』に應じた處、その時は五つかのうち一つも入選せず、辛うじて佳作に入つた丈けであるた。

翌年本社で炭礦小唄を募つた際選に洩れた某作家?が審査員に書面をぶつつけつやら本社に抗議を申し込んだりしたその强心臟ダンロップの如きを嗤つた自分ではあるが、此の時ばかりは掛け値の無い處『成る程この顏ぶれでは……』と選者として名を聯ねた中の一部に對し其の數發を疑つて些か自ら慰めたのであつた。

爾來十年、其んな事を悉皆忘れて居た自分は、一杯屋の暖簾から甲高く洩れる蓄音機の

盆にや來て見よ磐城の平
街は火の海人の波——

なる音譜を聽くともなしに聽いて、宛然舊知に邂逅つた樣な懷しさを覺せずには居られなかつた。歌詞が十年前のその佳作でそれが何時レコーデングされたか全く知らなかつたからである。時の選者と入選歌詞は當り障りがつくから觸れぬ事にしやう

8月31日
△佛詩人ゴーティエ生(一八一一)
△林南洋廳官辭意を表明(昭和一二)△わが空軍廣東を空襲(同一二)

戰線のひさに
坂井政子

○武裝せばなにかいかめし袂別の言葉に我れのなにも言ひ得ぬ
○今はとて今を言ふべしすこやかに過してゐよと言葉少なき
○タツークのかたへにさきし花なりと文に封じしコスモスの花
○ひとひらの花にもなにかたく支那のものゝ思ひたこもるが如し
○雨やみて霧流れゐる黄昏の澤べ音なしそばの咲きゐて

七夕
武田勇次郎

いも蔡の露で
かくんべ
七夕
色紙を
きざむ
妹

青竹は
つゆで
[illegible]
むしろの上で
かくんべ
七夕
露が おりてる
七夕さまに

なすと胡瓜の
仔馬がゐらゐ
星であかるい
あかるい宵
なすと胡瓜の
おともそつれて
村をまはるとな
七夕さまは

妹君代靈
珠雲 小野務平

露堉花影紫紅斑
幾個燈華夜映顏
埋骨忽々過半歲
反魂香裏淚潸々

その日
○
菜畑に殘る暑さや瓜の苗 許六

講談
隱密小天狗(おんみつこてんぐ) (112)
中川雨之氏作 近藤鐵氏畫

消息不明

「それが——」

といつたきり、小夜美は指先で、そつと瞼の露を拂つて。

「何處へ行きましたか」

「え。行く先が知れない、とでも言はれるのか」

「はい——」

小夜美は、たうとう突き迫つて來る悲哀に負けてしまつた。

いまはもう人目も構つて居られなくなつて、顏を押へた袖の下から、咽び泣きがかすかに漏れて來た。

三郎兵衛も思はず釣込まれて胸が塞いつてしまつた。

「これはきつと、何か變つた事が出來たに違ひない」

と、覺つた。

「兎に角、しばらくお邪魔をさせてもらひませう。御免……」

彼は、玄關を上つて行つた……。

小夜美は、涙片手に、奥へ案內した。

客が、三郎兵衛であらうが、誰であらうが、まの彼女は、兎に角、人さへ訪ねて來て呉れさへすれば、それで嬉しかつた。

誰に相談しよう。誰に力になつて貰はうといふ。人の一人も無い心細さ。老僕の嘉助と二人きりで、たゞ溜息を吐き合つてゐるよりはか[illegible]、仕方のない彼女は、この際誰[illegible]宜[illegible]から話しかけて、[illegible]不安の幾分でも救うては[illegible]かつた。

その後作、一昨日から、ふつつり消息が絕えてしまつた。

こんなことは、小夜美が來てから、初めての出來事であつた。

けれど、彼女は何處までも彼作を信じてゐる。だから決して淺はかな嫉妬めいた考へなぞは起らなかつた。その代り、一倍激しい不安に苦しむのであつた。

「戸田氏は、いつ、お出かけでした」

「はい一昨日の晩でございます」

「え。一昨日の晩——それきりで歸つて來られぬのですか」

「はい」

一昨日の晩、正雪が鎭瀧山に一味を集めて、密議を殺した、その夜であつた。

ところで正雪は、どういふ量見か、鎭瀧山の歸途、覆面の怪漢に毒龍飛劍を、お見舞したといふことを三郎兵衛には、言はなかつた。若し三郎兵衛がそれを知つてゐたら、或は彼も借はと思ひ當る處が、あつたかも知れない。

「家を出る時、戸田氏には何か變つた樣子でも」

と、三郎兵衛は問ひかけた。

「え〻、別に變つた樣子は見ねませんでしたが、只少し平常と變つてゐると思つたのは、なんとなく、ソワ〈〈してゐたことで」

「そのほかに、何も心當りは……」

「いゝえ、何も心當りはございません」

「はてね」

三郎兵衛は、腕を組んで考へた。

「若しや、あなた方に、何かお心當りはありませぬでせうか」

涙にぬれた眼の中に、哀訴するやうな色を浮べて、ヂツト覗つめる小夜美、溺れる者は藁をも掴むといふ譬の通り、彼女はいま、そんな氣持で誰でもいゝから相談相手になつてほしかつた。

ところが、相手の三郎兵衛が、久しい間、尋ね求めてゐる現在の父であらうとは、もとより夢にも知らない彼女であつた。

けれど、虫が知らすとでも言ふのか、彼女は、何ともいへぬ懷しさを、三郎兵衛に對して感じられた。何となく、思ひやりの深い老人のやうに思はれた。力がましい人のやうに思はれてならなかつた。

廣告

おでん
たつた揚
やきとり
ソーダ水
一平(イツペイ)
電話二六三番

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者 强口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

ラヂオの故障は——放送局指定相談所へ
ラヂオの故障の多い季節になりました。
修理は測定裝置技術完備の弊店へ
放送局指定ラヂオ相談所
日K受信機配給所
富永ラヂオ店
平驛前 電話四九六番

ダイナモ
バツテリー
マグネツト
礦山用エンヂン
久野電機
平市紺屋町五三
電話 七二一番
振替東京一五、一〇四番

病室增築、手術室完備
產科 婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
往診 臨時
平市新川町 「電話三六九番」

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
三七年型フォード
入車いたしました。
是非! 御試乘の程を!
市內四丁目
スヾキタクシー
電二一七番

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長 醫學士 金森五郎

斷然—賣行よし
信用と品質と共に備つて
低溫殺菌

岡田牛乳
平市鎌田町
電話五一

和洋
建具 家具 テーブル 椅子
其他裝飾品一般
御用命は迅速に御努め致します。
諸官衙 各學校 御用達
製作販賣
㊧ 片寄製作店
平市五丁目四
片寄小彌太
電話四八四番
十五、六歲見習職工 職工募集

鑑定項目
名前のみて一代の運命
何んでもわかる……
體力 肉体 (健康、不健康、相貌) 疾病 (病根病勢、病名)に關する一切
活動 職業 (職業、不適業) 天運 (天運、成功、不成功、災厄)に關する一切
血緣 家族運 (父母の緣、夫婦の緣、子供の緣)有無 男女緣 (氣質、相性、相剋、婚期など)に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六

◆內科、小兒科 院長 前田清美
◆外科 (內臟外科、花柳病科)
◆產婦人科 副院長 李恆足
◆耳鼻咽喉科 副院長 兒玉秀純
X光線科
(手術室入院室完備)
前田醫院
植田町本町 電話一二四番

新製品御知らせ
今年の殘暑は一心堂のアイスカクテルで
◉當店獨特の製法風味滿點
是非一度御試食を……
一、アイスカクテル 一個四錢
一、フルツケーキ 一個四錢
右多少に拘らず御電話次第配達致します
平市七丁目(電話六二六番)
一心堂製アン所
キャンデー部

レストラン
サロン
食事 喫茶 酒場を 兼ねた
平田町 電三五二

吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平市紺屋町 電話六八番

時局柄眞に勿體無い
「手を染めぬ九百萬坪」
郡下の鐵試掘鑛區調べ

開かぬ寶庫

石炭の石城にも鐵はある、即ち郡下現在の鐵試掘鑛區は

所在地		坪數（千坪）
大野	小川	五八八
入遠野	田人	七六四
同	石住	二、九〇七
永戸	赤井	一、八二一
好間	箕輪	四三三
永戸		九九九
上遠野	磐崎	八六七
澤渡外		二九八

合計實に八百六十七萬七千坪の廣汎なる區域に上り之らは何れも着業の時期は第二と、希望者があればいつ何時でも商談が進められるまで權利者間に虎視耽々の待機が行はれしてゐるが所有者は一二地方關係者を除く外殆ど中央の事業家で、今や戰時下に於ける鐵鋼の重要性に鑑み商工省が鐵鋼供給の充實を圖る爲め國內に貯藏されてゐる現品の買上げに關し此程地方長官宛に通牒を發した外一二特殊會社をして鋭意增産を行はしめると共に民間業者に對しても溶礦爐の增設を許可して極力鐵鋼供給の增加を圖る一方、その軍需供給を圓滑にするために民需の消費節約を行ふ必要を感じ消費制限に關する諸法規を公布する等只管國策線を直進しつゝある折柄、實際の生産には程遠き帳簿上の權利として死藏されてゐるのは眞に勿体無き極みであると云はれてゐる

無事を祈る農家
明後日が二百十日

硬度を失つた舗道のアスファルトが履き物にゴムの樣な感觸を與へる迄、よくも殘暑の續く事よ。終夜家居を續けて啣々たるコホロギの哀音も今は紛ふ方無き秋ではあるが、冥夏の樣な蚊帳なかの寢苦しさは、身に一糸も纏ひ度くない程のどけ無さを餘儀なからしめられて居る。長月に入る此の頃にあるまじき不連續線の氣紛れは何時まで續くことやら、今日は朝來の雨乍ら蒸し暑さは依然として薩張り去らず、今の處秋雨期候と云つた感じも直に無い

それにしても明後朔日は二百十日の厄日。事無かれと祈る念は過ぎし水の傷手尙癒えぬ農村にとつて極めて深刻なるものがある

鰻のぼりの秋繭
四倉市場賑ふ

去る二十六日秋繭の取引を開始して御祝儀相場四十四圓九十錢を示した四倉市場其後の取引値左の如く漸次うなぎ上りの良値を示し地方養蠶家を喜ばせてゐる、出廻りも今明兩日頃が最盛期と云はれて居る、同市場は來月七、八日頃迄取引を擧げ一たん休場の上再び晩秋繭の取引を開始、繭景氣は地方農村を明るい空氣で包んでゐる

（二十七日）高四五、二〇 安四二、〇〇 駒四三、四〇 掛目三三、出來高二二五貫

（二十八日）高四六、四〇 安三〇、八〇 駒四四、一〇 掛目三三 出來高二、七〇八貫

（二十九日）高四六、六〇 安三八、〇〇 駒四四、三〇 掛目三三 出來高二、六四二

尙蠶業取締平支所では目下連日係員が管內各方面に出張、上簇其他萬遺憾無きを期し督勵に大童べとなつてゐる

公會堂竣功式協議

平市公會堂は既報の如く十月三日の大安日を卜し、晴の竣功式を擧げるので市では三十一日午後一時建築委員、同二時參事會員を招いて擧式準備並に本館新築工事費精算につき協議

武德殿再建計畫
入山で尙武精神高揚

入山採炭では時局に鑑みて從業員の尙武精神を高揚するため武德殿を再建すべく目下準備を進めてゐる

同礦の武德殿は貯炭場の擴張から取り壞されそのまゝになつてゐたもの、再建場所は向田テニスコート附近が適當とされてゐる

老人赤ん坊を通じ
十圓平均の負擔
昨年度の市郡下課稅額

長期戰下の銃後强化に何よりも忘れてならぬ納稅義務ではある。處で市郡下に於ける其の一戸一人當りはどんな事になつてゐるか、試みに昨十二年度分に就き、市郡下現在の四萬四千五百二十一戸二十三萬五千七百八人（前回の國調實數に對し爾後增減を推定したるもの）に割り當てると

種目	賦課額	一戸當り	一人當り
直接國稅	六〇七、二九三	一四、〇九	二、六六
縣稅	二六七、八三三	六、〇三	一、一二
市町村稅	五六七、七二八	一二、六九	三、四一
附加稅	四四〇、〇四六	九、八八	一、八七
合計	一、九二三、九四〇	五三、五九	九、九八

で事變關係により前年に比較して各種目を通じ全面的の增加を示してゐる

所得調査員選擧打合
市郡下財務主任會同

毛色の異つた第三種所得調查委員選擧は既報の如く來月七日現在で作成する名簿により十月十日を以て執行さるる筈で愈よ名簿作成の期日が切迫したので、過般來種々準備を進めて居た平稅務署では今三十日午前九時から管內財務主任を招集川錦署長、平井直稅課長から事變下に於ける市町村財務擔當者に對する希望を述べた上、前記選擧に關し詳細指示協議する處あつた

スリ婆擧る

市內正月町無職某老女（七二）は二十九日夜二丁目常陽銀行前で大道藝人の尺八を聽いてゐた磐宜町小宮靜男のタモトから現金三十錢在中の蟇口をスリ取つて平署へ

隱亡（正木とり）に無罪の判決
『證據不充分』けふ平區で

犯行否認につて成行きを注視されてゐた平市營火葬場隱亡正木とり（四三）並に贓物故買の孫振漢（三八）に對する判決公判は今三十日午前十時半から淺野裁判長大脇檢事關與、山野邊、眞木兩辯護士立會で開廷、證據不充分により左の如き判決を言渡された（カッコ內求刑）

無罪（懲役六月） 正木とり
無罪（懲役四月罰金二十圓） 孫振漢

一部修理のため當分の間縱覽を謝絕することゝなつた土砂運搬の村民十餘名によつてぐん〳〵工事が進められてゐる

亭主持ちで無い限り、成年ならば女も權利がある＝一寸

俵米共販出廻り

石城販聯の俵米定期共販は明後一日行はれるが出荷左の如く合計六百四十七俵、相場は前回に比し大差ないものと見られる

平一號一〇〇 同二號五〇 平窪一四六 神谷六四 大野一六一 草野二〇 渡邊六〇 飯野二六 高久二〇

勞資懇談會
けふ平署で

平署管內工場、會社の勞資懇談會を三十日午前十時から同署會議室に開き、從業員爭奪防止に關して協議した

出席者は五十名以上の從業員を擁する工場、會社の代表者で河田鐵工場、平製氷、色川製材所、日本水産小名濱工場も加はつた

當分參觀謝絕
磐城燈台構內修理

磐城村鹽屋崎燈台は日曜、祭日を除く外一般の參觀を許可してゐるが今度構內の

入營 市內新川町阿部健治君は三十一日午前十一時七分發で入營

脅迫男に執行猶豫

婚約を破つた女を日本刀で脅かした內郷村綴寫眞業半澤利三郎（三六）は二十九日平區で懲役六ケ月但し三年間執行猶豫の判決を受けた

サヨナラ夏休み
緊張の二學期へ！

丸一ケ月、樂しい想ひ出の夏休みもあす一日でお終ひだ、海へ！山へ！鍛へ上げた兒童の健康色、おさらひ帖の仕上げも出來て愈よ明後日は初登校日。緊張の二學期へ―

第三早起會
試膽會は來月

第三小學校の夏休み中の最終行事である早起會は今三十日行つた、午前五時スックと床を蹴つて馳けつけた元氣な兒童は全部で千餘名（在籍一、三四〇）國旗掲揚式、遙拜、訓話（赤津校長）終つて教室內の大掃除、それから朝のラヂオ体操を行つて解散した

尙去る十五日行ふ筈であつた試膽會は雨のため中止、來月更めて行ふ豫定であると

市內の小字は？
全部で二百五十八

市內には小字がどれだけあるか？夏休み學習帖の參考に市役所が調べ上げたところによると舊平町が七十六、舊平窪が百八十二でこの合計二百五十八。それから最近の人口は男一萬六千六百三十三人女一萬六千百七十三人で計三萬二千八百六人で戸數は五千七百七十三

陣中を聽く （226）

立秋の夜空を眺めて
平のお盆を懷しむ

市內田町出身 大竹庫君（通信）

前略大變御無沙汰便りの借りが出來ました、色々と多忙の爲だつたことが原因です。御容赦願上ます。炎暑も今日は早くも立秋です、朝晩は大變涼しくなりました、流石に風は涼しさを含んで居ります。當地方には既に稻刈をしてゐる農家もあります、秋の田圃を眺めると何となく平和な氣分となります、たゞ兵火の巷と化した結果植付が出來ず、黄金の波が戰ぐ傍らに不毛の田畑が荒れるにまかしてあるのは誠に氣の毒な氣が致します。

其の後は〇〇地警備を二ケ月で解かれ潮風の訪れる〇〇と云ふ地に移動致しましたが此處も一ケ月足らずで引揚げました。しかし土用に先立つて秋風に追はれて去る事となつたので宛も避暑に來た結果となり本當に慙愧な樣でした。

黄ばむ稻田を眺めたり、潮風を滿喫する海邊で避暑を過したり出來る現在は全く平和其のものゝやうで彈雨下の話の感がありません 八月八日は舊のお盆十三日平市のお盆はどうかと遙かに偲んでゐる次第です。涼風が頬を、手を、足を撫で廻すと鐵兜も燒きついた猛鬪の苦痛も忘れ体がいよ〳〵ガッチリして來ます。戰線には誠によい季節となるのです。大いに頑張る覺悟です。皇軍の士氣益々旺盛、小生も幸に元氣溌剌、末乍ら御体御願ひ上げます草々。八月立秋の日

支那人開店

市內白銀町出身 蛭田浩君

市長殿には銃後の護りとして種々のお骨折り誠に感謝の念厚く其の事に胸一杯に御座います、充分御身御注意して頂き度いと希望致して居ります

小生は現在〇〇に居り城內も平穩になり支那居住民も出て店を始める樣になつて居ります、只豪壯なる建物に日章旗が翻つて居るのに感慨無量です。

雜巾代を献金

市內仲間町高秋フクさんは仕事の餘暇に雜巾を縫ひ半分を市役所に寄附、殘る半分を賣つた金額二圓を、又小太郎町佐藤忠助氏は金六圓を何れも恤兵金として市役所へ寄託

辭令

縣稅務書記

	新	舊	
	平	磐山	國分七郎
	郡山	平	渡邊庫太郎

三十一日（小名濱測候所發表）
滿潮 前六、五〇 後七、四〇
干潮 前一、二〇 後一、二五

磐城訓盲院代表出席
青森で關係教育者大會

光りを奪はれた不幸な盲啞の兒童を保護し、從來の教育を更に改善し進歩させやうとする東北六縣・北海道盲啞教育大會は九月下旬縣立青森盲啞學校で開催される、六縣下及び北海道の全盲啞學校は十六校で、その代表者六十餘名が出席し、從來の教育に種々檢討を加へ協議することになつてゐるが、その際各校生徒兒童の手になる可憐な作品展覽會も併催される豫定である、磐城訓盲院からも出席する筈で目下人選中であると

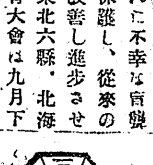
町村會だより

湯本町會 三十日午前九時から開き左記議件附議 十三年度歲入出追加更正豫算、特別稅戸數割徵收期日變更、土木工事施行方法、區長並に代理區長推薦 寄附採納

○高久村會 二十九日招集十三年度追加更正豫算、十三年度賦課稅率の件附議

○小名濱町會 今三十日午前十時から開き十三年度賦課稅率改正、十三年度追加更正豫算の二件附議

○神谷村會 神谷村では此程開かれた村會で防空演習に村葬の追加豫算百五十圓（既定豫算二、五一三圓）と戸數割につき協議又土木委員會では巡查駐在所新築費千五十圓を決定



舊七月七日 乙未 先勝 閉 壁宿 新八月三十一日 水曜

▲一白 殺氣滿ちて事に口舌爭論が生ずることあり▲二黑 急がずあせらず牛の歩みの如くにして得あり▲三碧 目先きの利かぬ日か約束事は見合す方が勝ち▲四綠 目に見えぬやうなれども少しづゝ運氣直る▲五黄 身の程を守り大なる事に手出しすべからず▲六白 努力奮鬪する幸運日なり新しき事業に尤も吉▲七赤 引立てに逢ふて昇進する日開店企業等も吉▲八白 流言ふ說に動かさるゝ日新しき事はもつとも凶▲九紫 次第に慶福に向ふべし博愛の美風を忘るな

廣告

玉屋ノ眼鏡

簡易ノ金融 磐城無盡 趣味ノ貯蓄
出張所縣內各町

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

お醬油は……ヤマフに
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
醬油釀造 山崎合名會社 平市紺屋町 電話（營業部一〇番 本店二七番）

根本醫院 産科 婦人科
平市南町五二 根本莊次郎 根本貞雄 電話三四番
（病室完備 入院隨時）

男女學生夏服大特賣
高島屋の洋服
新柄背廣 レンコート
既製品並ニ注文
高島屋 平市二丁目 電話三八六番

夜間診療
胃腸 性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
松村胃腸性病科醫院 （平市南町電話一〇七番）
（見習看護婦募集）

耳鼻咽喉科專門 醫學士 鈴木正男 平市田町（電話五八番）藤田女學校前
齒科口腔外科 日本齒科醫學士 鈴木政 內郷村高坂 磐炭病院前
鈴木醫院
「入院のお需めに應ず」（看護婦及び見習看護婦募集）